



2020年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年3月12日

上場会社名 株式会社トーエル 上場取引所 東
 コード番号 3361 URL https://www.toell.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 孝治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 管理本部長 (氏名) 澤山 英夫 (TEL) 045-592-7777
 四半期報告書提出予定日 2020年3月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期第3四半期の連結業績(2019年5月1日~2020年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第3四半期	16,714	△2.5	763	△17.1	836	△15.4	504	△18.7
2019年4月期第3四半期	17,143	3.3	921	△12.6	988	△19.0	620	△10.9

(注) 包括利益 2020年4月期第3四半期 467百万円(△15.0%) 2019年4月期第3四半期 550百万円(△25.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年4月期第3四半期	25	48	—	—
2019年4月期第3四半期	31	29	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2020年4月期第3四半期	24,909		15,838		63.5	798.31		
2019年4月期	25,473		15,642		61.4	789.83		

(参考) 自己資本 2020年4月期第3四半期 15,828百万円 2019年4月期 15,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年4月期	—	0.00	—	15.00	15.00	—
2020年4月期	—	0.00	—	—	—	—
2020年4月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年4月期の連結業績予想(2019年5月1日~2020年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	24,760	4.4	1,650	1.4	1,760	0.4	1,100	△3.0	55	58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年4月期3Q	20,415,040株	2019年4月期	20,415,040株
② 期末自己株式数	2020年4月期3Q	587,627株	2019年4月期	624,795株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年4月期3Q	19,811,530株	2019年4月期3Q	19,843,682株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続いています。一方、通商問題や新型コロナウイルスを巡る動向、中東地域を巡る情勢等の海外経済の動向等に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意が必要な状況にあります。このような環境の下、当社はエネルギー事業においては、引き続き公正な判断に基づく適正価格をホームページに掲載し、お客さまのご理解を得ながら利益確保に努める一方で、総合エネルギー事業者として災害時に強いLPガス設備の営業強化、都市ガスの取り扱いに向けた準備など事業基盤の確立を着実に進めております。ウォーター事業においては、ハワイ州Nimitz Factory（ハワイ第2工場）の安定稼働と共に、拡大するウォーター需要への備えとして、2021年の稼働を目指し大町第4工場の建設を進めております。また、高品質な天然の原水をコンセプトとした自社ブランドをより一層浸透させる為の差別化戦略に尽力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,714百万円（前年同四半期比2.5%減）、営業利益は763百万円（前年同四半期比17.1%減）、経常利益は836百万円（前年同四半期比15.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は504百万円（前年同四半期比18.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りです。

① エネルギー事業

ガス需要は伸びたもののLPガス輸入価格が安値で推移したこと等により前年同四半期比減収となりましたが、取引条件の改善等適正価格での販売に注力した結果、増益となりました。LPガス小売業界におけるお客さまの争奪合戦は激しさを増している状況ですが、当社はこの過当競争を乗り越えるため、独自の物流システムによるコスト削減と自社配送の利点を生かした対面チャネル強化等により事業基盤の拡大に努めております。更に新設の厚木バルク工場の本格稼働に伴い、自社物件は勿論のこと関東一円のバルク交換を受注することで、配送の合理化に資する体制を確立しました。また、電力、都市ガスを含めたエネルギー自由化競争に対しては、あらゆるお客さまのニーズに応える供給体制を整えるため、既存の「ガス」、「ウォーター」というライフライン領域に「TOELLでんき」「TOELL光LINE」を加え4事業をセットにした「TOELLライフラインパッケージ」の提案により既存のお客様の取引拡大と新規のお客様の開拓に努めました。また、災害時の電力確保が可能な電源自立型GHP（ガスヒートポンプ）エアコンやLPガス非常用発電機の提案を強化することで更なる事業基盤の強化を推進しました。

この結果、売上高は11,779百万円（前年同四半期比5.2%減）、管理部門経費配賦前のセグメント利益は1,515百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。

② ウォーター事業

ボトル販売本数（12L換算）は前年同四半期比2.6%増、加えてウォーター関連売上が伸展したことにより前年同四半期比増収となりました。ボトルウォーター市場は、より美味しい水を嗜好するお客さまの増加や首都圏を中心としたオフィスビル、マンションの高層化に伴う宅配サービスのニーズ増加により年々拡大しております。一方、人手不足による物流コストの上昇が社会問題化する中、当社では自社配送によるコスト削減とサービス向上に努め、対面チャネルを強化・多様化することでお客さまの開拓に努めました。具体的には多種多様な広告媒体の活用、インターネットによる受注の他、TOELLライフラインパッケージの拡販強化により新規のお客さまの開拓に尽力してきました。差別化戦略として、高品質な天然の原水をブランドコンセプトとしたピュアウォーターの「アルピナ」「Pure Hawaiian」、北アルプスの天然水そのものをボトリングした「信濃湧水」、3つのブランドをリターナブル、ワンウェイ2種類のウォーターサーバー専用ボトルを取り揃えることで様々なお客さまのニーズに対応していきます。更にNimitz Factory（ハワイ第2工場）では持ち運びに便利なミニボトル「Pure Hawaiian」の製造を開始しました。新商品として販売を開始するとともに、この度、複数の大手航空会社にハワイ便の機内用飲料水としてご採用いただきました。ハワイに高い関心をお持ちの方々をターゲットに商品認知度の向上を図り、販売促進につなげてまいります。「高濃度水素水サーバー」を利用したいつでもできたての水素水は、水素溶存濃度4.1ppmを誇る看板商品であり、この高い競争力を生かしボトルウォーター業界のみならず異業種分野への開拓も進めてまいります。海外展開については新たにインドネシアへの輸出が始まりシンガポール、香港、タイ、ベトナム、台湾に続く6か国目となりました。日本の美味しい水に対するニーズは強く、将来のマーケット拡大に向けて着実に取り

組んでまいります。

一方、大町第4工場2021年稼働に向けた準備、Nimitz Factoryの減価償却費、人件費等の販管費が増加しております。

この結果、売上高は4,935百万円（前年同四半期比4.7%増）、管理部門経費配賦前のセグメント利益は548百万円（前年同四半期比32.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

財政状態につきましては、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ563百万円減少し、24,909百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1,133百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ759百万円減少し、9,071百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等が217百万円、その他のうちリース債務が357百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

また、自己資本比率は63.5%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月期第3四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では、2019年6月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、気候変動やC P 価格及び円／ドル為替の動向などの不確定な要素があり、今後業績予想に関しては修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,337,831	4,204,407
受取手形及び売掛金	3,128,156	3,203,248
商品及び製品	1,044,795	1,002,639
仕掛品	16,188	10,826
貯蔵品	340,966	354,365
その他	293,037	341,721
貸倒引当金	△108,237	△105,837
流動資産合計	10,052,737	9,011,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,610,379	3,896,069
機械装置及び運搬具(純額)	1,495,428	2,185,618
土地	5,499,431	5,981,778
リース資産(純額)	1,871,688	1,542,837
その他(純額)	1,956,259	417,735
有形固定資産合計	13,433,186	14,024,037
無形固定資産		
営業権	246,795	174,286
その他	130,697	128,337
無形固定資産合計	377,492	302,623
投資その他の資産		
その他	1,753,600	1,715,849
貸倒引当金	△143,963	△143,996
投資その他の資産合計	1,609,636	1,571,852
固定資産合計	15,420,316	15,898,514
資産合計	25,473,054	24,909,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,712,344	1,971,865
短期借入金	530,000	510,000
1年内返済予定の長期借入金	384,801	392,748
未払法人税等	256,007	38,832
賞与引当金	194,415	99,349
役員賞与引当金	52,500	45,000
その他	2,655,892	2,266,584
流動負債合計	5,785,961	5,324,379
固定負債		
長期借入金	1,169,878	1,173,485
役員退職慰労引当金	873,551	844,054
退職給付に係る負債	620,977	637,829
その他	1,380,514	1,092,019
固定負債合計	4,044,921	3,747,388
負債合計	9,830,883	9,071,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	767,152	767,152
資本剰余金	1,492,427	1,488,650
利益剰余金	13,573,548	13,777,694
自己株式	△546,341	△513,838
株主資本合計	15,286,785	15,519,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260,737	251,398
為替換算調整勘定	83,314	57,472
退職給付に係る調整累計額	147	△173
その他の包括利益累計額合計	344,200	308,698
非支配株主持分	11,185	9,761
純資産合計	15,642,171	15,838,117
負債純資産合計	25,473,054	24,909,885

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)
売上高	17,143,683	16,714,736
売上原価	9,797,212	9,226,012
売上総利益	7,346,471	7,488,724
販売費及び一般管理費	6,424,979	6,725,172
営業利益	921,491	763,551
営業外収益		
受取利息	991	3,678
受取配当金	12,232	12,745
賃貸収入	21,366	22,384
スクラップ売却収入	57,045	41,753
その他	63,810	86,175
営業外収益合計	155,445	166,737
営業外費用		
支払利息	44,809	36,803
賃貸費用	17,658	17,097
為替差損	18,243	35,158
その他	7,691	5,184
営業外費用合計	88,403	94,243
経常利益	988,533	836,046
特別利益		
固定資産売却益	5,367	3,106
特別利益合計	5,367	3,106
特別損失		
固定資産除却損	5,065	5,152
固定資産売却損	—	195
ゴルフ会員権売却損	—	400
特別損失合計	5,065	5,747
税金等調整前四半期純利益	988,835	833,404
法人税、住民税及び事業税	311,039	298,134
法人税等調整額	56,251	31,606
法人税等合計	367,290	329,740
四半期純利益	621,544	503,664
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	709	△1,162
親会社株主に帰属する四半期純利益	620,835	504,827

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益	621,544	503,664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62,006	△9,338
為替換算調整勘定	△9,000	△26,103
退職給付に係る調整額	△385	△321
その他の包括利益合計	△71,392	△35,763
四半期包括利益	550,152	467,901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	549,534	469,325
非支配株主に係る四半期包括利益	618	△1,423

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エネルギー 事業	ウォーター 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,429,280	4,714,403	17,143,683	—	17,143,683
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72,233	—	72,233	(72,233)	—
計	12,501,514	4,714,403	17,215,917	(72,233)	17,143,683
セグメント利益	1,467,429	814,673	2,282,102	(1,360,611)	921,491

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,360,611千円には、セグメント間取引消去△72,233千円と全社費用△1,288,377千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エネルギー 事業	ウォーター 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,779,054	4,935,682	16,714,736	—	16,714,736
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,779,054	4,935,682	16,714,736	—	16,714,736
セグメント利益	1,515,690	548,149	2,063,839	(1,300,287)	763,551

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,300,287千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。